



2008年12月19日青森地方气象台発行

### 【12月12日～12月18日までの経過】

期間の中ごろは高気圧に覆われ晴れの日もありましたが、気圧の谷の影響や弱い冬型の気圧配置となることが多い一週間でした。日本海側では、曇りや雪、または雨の日が多く、太平洋側では、雪や雨の日もありましたが、概ね晴れまたは曇りの天気で経過しました。15日は気圧の谷の通過で、全般的に雪となり、まとまった降雪となった所がありました（青森の朝9時の積雪は10センチを観測）。16日から17日にかけて高気圧に覆われ、県内全般に晴れ間が広がりましたが、18日には再び気圧の谷の通過で雨となりました。

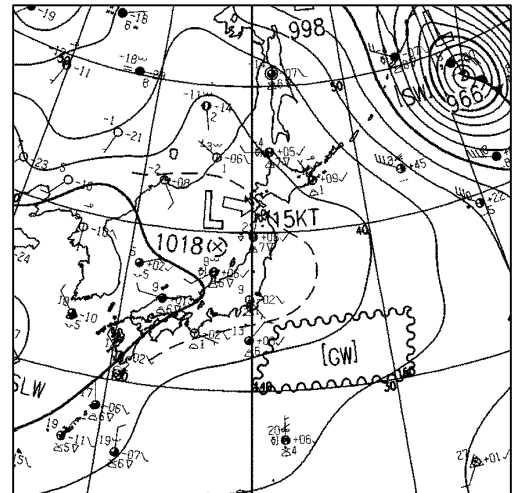


図1 12月15日15時の地上天気図

### 【トピック】 着雪注意報

12月15日9時13分東青津軽、下北、上北地域に大雪・着雪注意報が発表されました。大雪注意報はよく耳にするとお思いますので、今回は着雪注意報についてお話をします。着雪は湿った雪が電線や樹木などに付着する現象です。この注意報は、湿った重たい雪が降って大雪となり、樹木の枝折れや送電線の断線等の被害が起こるおそれがあるときに発表されます。湿り雪は気温が高めのときに降りやすく、气象台ではマイナス2度より高い場合を注意報の基準としています。右写真は12月15日气象台玄関前で撮影したナナカマドです。湿った大きなぼたん雪が赤いナナカマドの実にまとわり着きました。とても厄介な着雪ですが、ときおり美しい光景も見せてくれます。



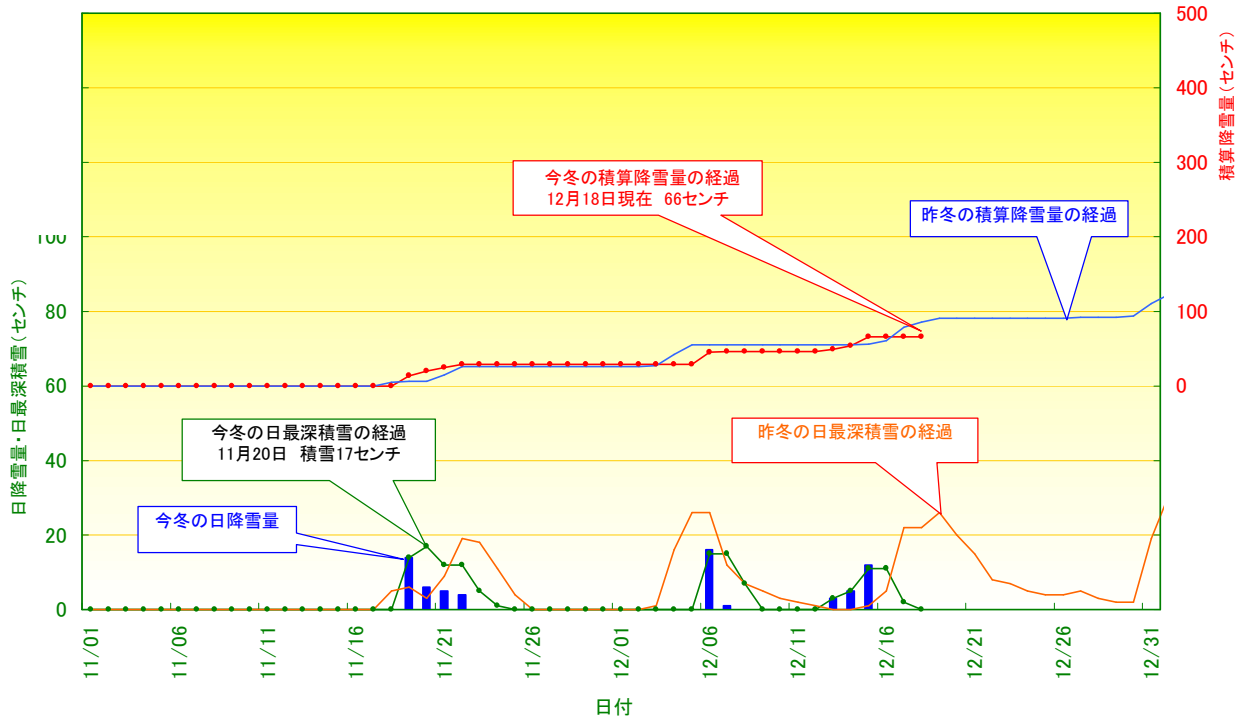
### 【東北地方の今後一週間の見通し（12月19日11時発表）】 ※最新の予報をご利用下さい。

向こう一週間、気圧の谷や冬型の気圧配置により曇りや雪または雨の日が多いでしょう。最高気温は、期間のはじめは平年より高いですが、その後は平年並の日が多いでしょう。最低気温は、期間のはじめは平年より高いですが、その後は平年並か平年より低いでしょう。

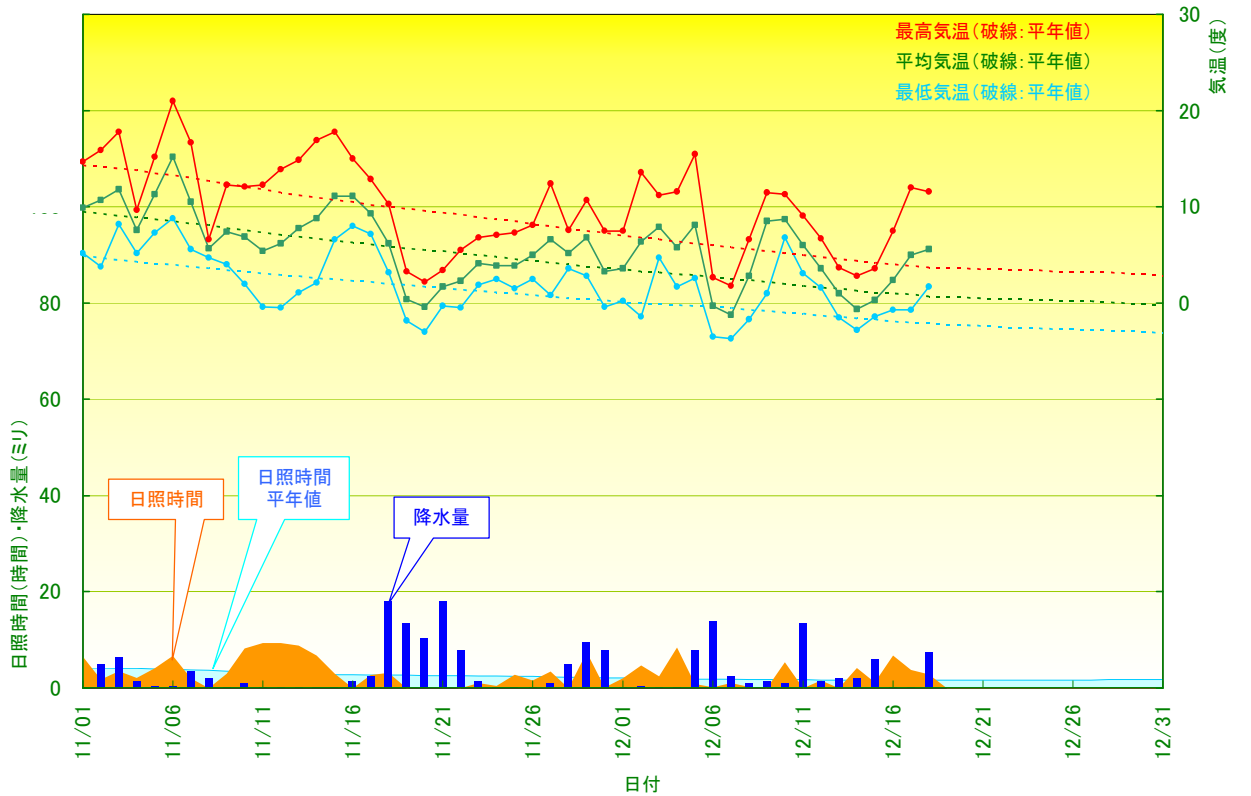
なお、22日頃は低気圧の影響で荒れた天気となるおそれがあります。

（この原稿の作成 防災業務課 外川）

【前月からの雪の経過図（青森）】2008年



【前月からの気象の経過図（青森）】2008年



# 青森市浅虫で見られた「けあらし」

平成20年11月21日9時頃、青森市浅虫にある湯ノ島付近で海面から湯気のようなものが立ちのぼる現象が見られました。右の画像は青森市浅虫にある海釣り公園から撮影したものです。



画像1 青森市浅虫海釣り公園より湯ノ島を撮影

これは「けあらし」※1という現象で、冷たい空気が暖かい海の上に流れ込んだときに、海上から蒸発した水蒸気が冷やされて発生するものです。お風呂の湯気と同じ原理です。一般的に風の弱い寒い朝に見られる現象ですが、条件が揃えば季節を問わず見られる現象です。特に冬は朝の冷え込みが強いため、海面水温と気温の差がけっこう大きくなり「けあらし」が発生しやすい季節といえます。

朝9時の青森気温は1.2度で、最低気温はマイナス0.5度を観測しました。平年より2.1度低い寒い朝となりました。一方、陸奥湾付近の海面水温は約15度で(図1)、朝9時の青森の気温と比較すると14度ほどの差があったことがわかります。風も弱かったことから、海面から盛んに湯気が立ちのぼる様子が見られました。

※1「けあらし」とは気象庁の正式な気象用語ではなく、北海道や東北地域で使われる呼び方です。地域によっては「嵐風」や「毛嵐」と表記する所もあるようです。

北海道周辺・日本東方海域 旬平均海面水温の詳細い資料は気象庁ホームページにあります。

[http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/hakodate/jun/sst\\_h.html](http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/hakodate/jun/sst_h.html)

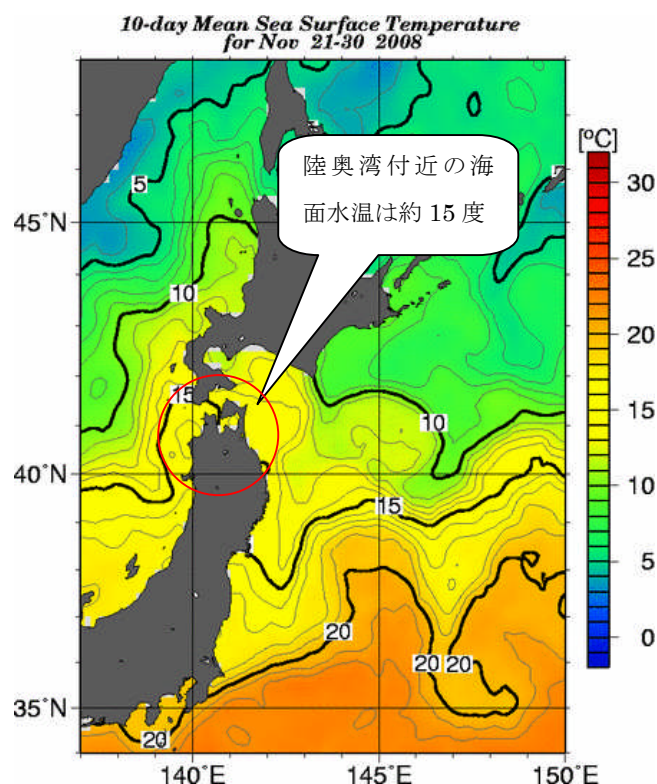


図1 北海道周辺・日本東方海域 旬平均海面水温

2008年11月21日から30日

掲載したデータは速報値であり、品質管理によって後日修正される場合があります。



気象庁

国土交通省 気象庁 青森地方气象台  
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号  
電話 017-741-7411



国土交通省